



日本の木組み辞典



あかり-四本脚



白と黒の物語・女の風影シリーズ



12支シリーズ・辰

発想のデザイン展

同時展示・杉山光子・愛と華やきの詩シリーズ・白と黒の物語・あかりとのコラボレーション展示

親子であそぼ
木のおもしろ
ワールド



創具シリーズ・家をつくろう



触の引出し(動物)

人生マンダラ(部分)



2025
4.26 SAT **6.29** SUN



秋田県立近代美術館
AKITA MUSEUM OF MODERN ART

会場 **5階 展示室** 時間 **9:30・17:00** 入館は 16:30まで

観覧料 一般 900円(700円) 中・高生 500円(300円)
小学生 300円(200円) 未就学児 無料

車:秋田自動車道・横手インターより3分 シャトルバス:JR横手駅一秋田ふるさと村15分

[チケット取扱所] 秋田県立近代美術館、秋田ふるさと村
ローソンチケット(Lコード:21730)

※前売券販売期間:2025(令和7)年3月15日(土)~4月25日(金)

[担当・連絡先] 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)

TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858

E-mail:akitamma@rnac.ne.jp

※中高生は要学生証提示 ※()内は前売券の料金

※障害者手帳またはミライロID提示の方は半額(介添1名半額)

※リピーター割:本展の半券提示で100円引き(他の割引との併用は不可)



発想のデザイン展

親子であそぼ
木のおもしろワールド

つくるプロセスや考える(デザインする)プロセスの中で新たな「意味」を創造してきた60年の軌跡を展示します。自らの手で造形し、巧みな職人さんの技や現代の技術との共生による「ものづくり」は新たな意味を生みます。さらに意味は形を生み、形は新たな言葉(意味)を生むことで、人々のくらしの中で「意味」が熟成し豊かになってゆくのです。

第1室 STAGE 4 生きものの造形

木の材質や技との共生によって生み出された生きものたちの新たな魅力の造形を紹介。



入れ子の動物パズル



フクロウ



おもしろ生きもの

第2室 STAGE 5 あかりの造形

自然の力と美にしたがう24のテーマ100のあかりと絵画(ペン画)とのコラボレーションです。



あかりの庭



ワロン紙によるあかり
(杉山光子)

開催趣旨

木を用いた造形表現と研究に長年携わってきた杉山明博は、伝統の技術や手法を巧みに取り入れながら、アートとデザインが共生した数々の作品を生み出してきました。「杉山明博・60年の軌跡 親子であそぼ・木のおもしろワールド 発想のデザイン展」は、「豊かな感性」「発想力」「工夫力」などを幅広い世代に体感してほしいという願いを込めた、遊びと学びと造る楽しみが融合した展覧会です。

木という素材に触れて楽しむことで、子どもたちの感性や情操が育まれることはよく知られています。本展では色や匂い、素材や形などさまざまな特徴を持つ木の作品を触って、組み立てて、工夫しながら遊ぶことで、創造力=生きる力が育まれることでしよう。自然の素材として多彩な表現と無限の可能性をもつ「木」。この機会にその魅力を充分にお楽しみください。

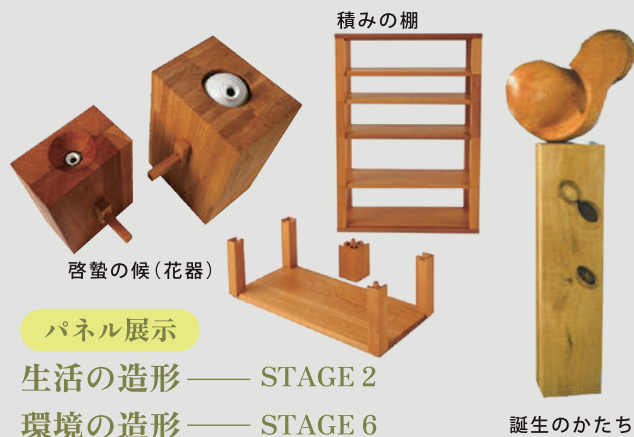
5F 展示室

杉山明博・意味の造形・六〇年の軌跡

STAGE 3 日本文化の造形

第3室

日本人の築いてきた文化の型をもとに
現代生活のための新たな意味を造形します。



啓蟄の候(花器)

積み目の棚

誕生のかたち

パネル展示

生活の造形——STAGE 2

環境の造形——STAGE 6

STAGE 1 子どものための造形

第4室

無限の答えのある「もの」たちに手で触れ、
新たな意味を発見する木のおもしろワール
ルド・あそびの広場として展開します。



創具シリーズ
(北浜幼稚園の実践)

入れ子のパズル

音の木

パネル展示

幼児教育プログラム——STAGE 7

デザイン発想教育のシステム——STAGE 8
デザインフォーマットによる SUGIYAMA METHOD

学びの見える化・ノートづくりと勉強法——STAGE 9
ステージングによるノートづくりと勉強法

社会貢献のためのプログラム——STAGE 10

関連イベント

担当学芸員によるギャラリートーク

[日 時] 2025年5月11日(日)、31日(土) 各日14時～(30分程度)
[会 場] 秋田県立近代美術館 5階展示室
※申込不要(時間までに会場にお集まりください)
※参加無料(ただし当日の観覧券が必要)

主 催 杉山明博・発想のデザイン展実行委員会
(秋田県立近代美術館・ABS秋田放送)
制作監修 造形作家・杉山明博(静岡大学名誉教授) 画家・杉山光子
後 援 横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、
毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社、
産経新聞秋田支局、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田、横手まぐらFM、エフエムゆーとびあ、FMIはなび